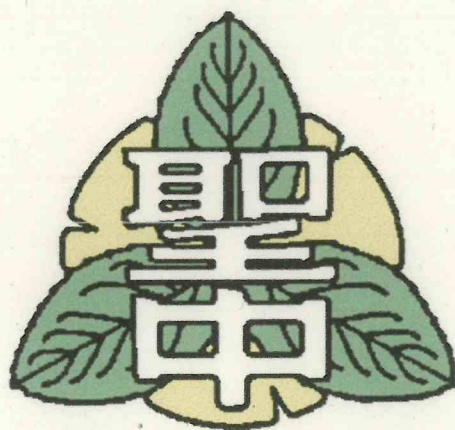


令和 6 年度

# 第2学年 シラバス



多摩市立聖ヶ丘中学校

<b>2年</b>	<b>国語科</b>	教材	『国語2』（光村図書）・『単元別漢字2』（秀学社）・『光村の国語のワーク2』（光村図書）・『中学書写』（光村図書）・『図解で！わかる文法』（学宝社）・『国語便覧』
-----------	------------	----	---

### 【国語科で目指すこと】

<p>(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>
---

### 【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<p>① 最初の漢字プリントは毎時間行います。見直しも丁寧にしましょう。</p> <p>② 多様な語彙について関心を持ち、習った言葉は失敗を恐れず使ってみましょう。日常生活においても、授業で習ったこととのつながりを感じましょう</p> <p>③ ワークシートはよく考え、「自分の言葉」で表現して、伝えたいことをまとめましょう。</p>	<p>① 授業時の漢字プリントでわからなかった部分の復習を何度もしましょう。</p> <p>② 新しい単元に入る際には、家でも最低1回は本文を読み、ワークを解いておきましょう。</p> <p>③ 朝読書以外でも、本を読む時間を大切にしましょう。</p>	<p>① まずは、左記のことを心掛けましょう。それが何よりも大切なことです。</p> <p>② 「定期考査のためだけの勉強」にならないように、テスト期間に詰め込まないようにしましょう。</p> <p>③ 単元の目標を思い出し、身に付けた力はどのようなものなのかを意識しましょう。</p> <p>④ 疑問点は、日常的に解消するようにしましょう。</p>

### 【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	・小テスト（漢字、語句、暗唱等） ・定期考査 など
思考・判断・表現	・定期考査 ・課題作文 ・ワークシート ・小テスト（聞き取りテスト等） など
主体的に学習に取り組む態度	・ワーク・ワークシートの取り組み ・小テスト（漢字、語句、暗唱等） など

各観点の比率は1：1：1です

### 【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19～21	湯目	80点
		松永	20点
第2回定期考査	9/26, 27	湯目	80点
		松永	20点
第3回定期考査	11/19～21	湯目	80点
		松永	20点
第4回定期考査	2/25～27	湯目	80点
		松永	20点

### 【担当者からのメッセージ】

<p><b>【湯目】</b> 国語を学ぶことは、身近にある様々な事象について理解を深め、世界を知り、自分を知ることにつながっていきます。きっとあなた自身の世界が広がっていくことでしょう。様々な物語を読み、様々な言葉を知り、話し合い、学びあうことであなた自身の幅を広げてください。一緒に頑張りましょう。</p> <p><b>【松永】</b> 1年生の頃に学んだことに加えて、2年生ではさらに様々な力を身に付けていきます。日常的に取り組むことができるのは、漢字の練習や、四字熟語や慣用句等の言葉にたくさん触れることです。3年生になったときにさらに力を伸ばせるよう、土台をしっかりと作っていきましょう。漢字検定も、受けるなら今年がチャンスです！</p>
---

## 【1年間の学習内容】

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学期	1 広がる学びへ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見えないだけ</li> <li>・アイスプラネット</li> <li>・枕草子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな文章に触れたり、情報を集めたりすることで、学習の見通しを持つ</li> <li>・詩や物語、古典などの文章に触れ、言葉の豊かさに気づく。</li> </ul>
	2 多様な視点から	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クマゼミの増加の原因を探る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や展開の仕方、事実と意見の示し方に注意して、説明の工夫を考える。</li> <li>・多様な方法で発表する材料を集め、効果的でわかりやすい説明の仕方を工夫する。</li> </ul>
	3 言葉と向き合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌に親しむ</li> <li>・短歌を味わう</li> <li>・言葉の力</li> </ul> <p>【書写】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読みやすく速く書くための行書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な言語文化のひとつである短歌に触れ、ものの見方や感じ方を豊かにする。</li> <li>・言葉を集めて、その微妙な違いに気づき、豊かな言葉の世界に触れる。</li> </ul> <p>・漢字の行書の書き方を理解し、読みやすく速く書く。</p>
2 学期	4 人間のきずな	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盆土産</li> <li>・字のない葉書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・描写や例示の意味と働きに注意し、内容を理解したり表現を味わったりする。</li> <li>・さまざまな関係を押さえて、読んだり書いたりする。</li> </ul>
	5 理論を捉えて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モアイは語る—地球の未来</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落の役割に着目しながら、事実と意見を読み分け、文章の内容を捉える。</li> <li>・文章と図の関連や段落と段落の関係に注意して文章の構成を捉える。</li> </ul>
	6 いにしへの心を訪ねる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・源氏と平家</li> <li>・扇の的一平家物語から</li> <li>・仁和寺にある法師</li> <li>・漢詩の風景</li> </ul> <p>【書写】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読みやすく速く書くための行書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文や漢文を朗読して、それぞれの文体のもつ調子やリズムを味わう。</li> <li>・朗読を通して古典に親しむとともに、登場人物や作者のものの見方や考え方に触れる。</li> </ul> <p>・行書に調和した仮名の書き方を理解し、読みやすく速く書く。</p> <p>・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し読みやすく速く書く。</p>
3 学期	7 価値を語る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・君は「最後の晚餐」を知っているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立場と根拠を明確にした論理的な表現の仕方を学ぶ。</li> </ul>
	8 表現を見つめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走れメロス</li> <li>・木</li> </ul> <p>【書写】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を使い分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな表現に触れ、人間の多様な営みへの理解を深める。</li> <li>・自分の知識や経験と結び付けて理解し、生きる力を養う。</li> </ul> <p>・目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書く。</p>

# 2年

# 社会科

教材

【地理】・中学校の地理 ・中学校社会科地図 ・地理の資料

・地理の完全学習（ワーク）

【歴史】・新しい社会 ・歴史の資料 ・歴史の完全学習（ワーク）

### 【社会科で目指すこと】

- ・基本的な知識をしっかりと理解し、基礎基本の定着をはかる。
- ・地図や年表などの資料を読み取ることができる。
- ・資料から発見できたことを具体的に表現することができる。
- ・学んだことを基に、知識を関連づけ、多面的・多角的に考察し表現することができる。
- ・課題解決に向け自らの学習を振り返りながら、粘り強く学習に取り組み、主体的に社会に関わろうとする。

### 【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を大切に、気づいたことや大事なことをノートに記入し、自分のノートを作りましょう。</li> <li>・資料や図などを見て、特徴を考え出来事などが起こる原因や背景について根拠をもって考えましょう。</li> <li>・これまで学習してきた知識や技能を関連づけたり、活用したりして自分の意見を書きましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の予習をしましょう。</li> <li>・復習をワーク等で行いましょう。</li> <li>・得意でない問題は、担当教員に質問するなどしましょう。</li> <li>・世の中の出来事に関心を持ち、学習で獲得した知識などと関連がないか考えましょう。</li> <li>・ニュースなど新しい出来事を知り、その出来事について疑問を探してみてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に復習しましょう。</li> <li>・知識として定着するまで、ワークに何度も繰り返し取り組みましょう。</li> <li>・自分が理解していることとそうではないことを整理し、まだ不十分なところはさらに学習しましょう。</li> <li>・指示語などの理解や文章表現なども重要です。国語やその他の教科の勉強も大切してください。</li> </ul>

### 【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	定期考査、小テスト等
思考・判断・表現	定期考査、ワークシート、授業での取り組み等、グループワーク等（ディベート・プレゼンテーション）
主体的に学習に取り組む態度	ワークシート、授業での取り組み等

各観点の比率は1：1：1です。

### 【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19～21	大澤	100点
第2回定期考査	9/26,27	大澤	100点
第3回定期考査	11/19～21	大澤	100点
第4回定期考査	2/25～27	大澤	100点

### 【担当者からのメッセージ】

・自分自身の考えや意見を発言や記述などを通して、たくさん表現して欲しいと思います。

・班活動や発表の際は、話し合いを通して、社会における様々な課題をどのように解決していくべきか、考えを深めて欲しいと思います。

・歴史と地理は別々に学習しますが、相互に関連しています。今学習していることが歴史と地理でどのようにつながっているか、関心をもってみてください。

・ニュースなどで世の中の出来事を知るとき、社会の学習で出てきたなど感じる瞬間が増えるように、意識して学習し情報に接してみてください。

1年間よろしくお祈いします。

【1年間の学習内容】

学 期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学 期	<<歴史>> 近世の日本  ・世界と比べた日本の 地域的特色	・ヨーロッパ人との出 会いとイスラム世界 ・江戸幕府の成立と支 配の仕組み  ・日本の地域的特色	・織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武 将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会 の基礎がつくられたことを理解する。 ・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖 国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府 と藩による支配が確立したことを理解する。 ・近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的 に考察し、表現する。 ・世界における日本の位置や日本の地域区分、世界と比 べた日本の地域的特色、さらには、地域の課題を地誌的 に考察することを通して、地理的認識やそれに関連し た技能を養う。
2 学 期	<<地理>> ・日本の諸地域 (日本の地域的特色)  <<歴史>> 近世の日本	・日本の諸地域 自然環境、歴史や文 化、産業、地域的課題 などの観点による特 色  ・社会の変動や欧米諸 国の接近、幕府の政治 改革、新しい学問・思 想の動き	・日本をいくつかの地域に区分しそれぞれの地域につ いて理解する。また、それぞれの地域の自然環境、歴史 的背景、文化、産業、環境問題や環境保全、人口や都市、 村落、生活や文化、他の地域との結びつき、地域的課題 のいずれかの視点に注目して地域的特徴を捉える。  ・産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府 の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付け るなどして、産業の発達と町人文化、幕府政治の展開に ついて、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考 察し、表現する。
3 学 期	<<地理>> ・日本の諸地域 (日本の地域的特色)  <<歴史>> ・開国と近代日本の歩 み	・日本の諸地域 自然環境、歴史や文 化、産業、地域的課題 などの観点による特 色  ・明治維新 ・日清戦争・日露戦争 と日本の近代化	・日本をいくつかの地域に区分しそれぞれの地域につ いて理解する。また、それぞれの地域の自然環境、歴史 的背景、文化、産業、環境問題や環境保全、人口や都市、 村落、生活や文化、他の地域との結びつき、地域的課題 のいずれかの視点に注目して地域的特徴を捉える。  ・近代国家の形成への道筋、および欧米との関係と東ア ジアとの関係を理解する。

<b>2年</b>	<b>数学科</b>	教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい数学2（教科書）</li> <li>・数学の学習ノート（ワーク）</li> <li>・単元別プリント基礎から発展へ（カラープリント）</li> </ul>
-----------	------------	----	--

### 【数学科で目指すこと】

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したリ、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

### 【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
◇その日の授業目標の達成をめざして集中して取り組み、忘れ物をしないように注意しましょう。 ・持ち物は教科書、ファイル、ノート、ワーク、定規、色ペンなどです。 ◇説明、問いかけをきちんと聞きましょ。う。 ◇ポイントを書き込むなど工夫してノートやファイルをまとめましょう。 ・問題を解くときは、解く過程の式や考え方を書き、まちがいは赤ペンで書き直すなどの工夫をしましょう。 ◇わからないことを放置せず、質問するなどして解決しましょう。 ・ファイルやノート、教科書を活用して振り返りができるようにしましょう。 ・友達や先生に遠慮せず質問しましょう。	◇その日の授業内容を復習する習慣を身に付けましょう。 ◇宿題はきちんと取り組み、提出期限を守りましょう。 ◇ワークなどを活用して計算練習を少しする進めましょう。 ※数学の問題を解くための基本は計算です。家庭学習で繰り返し練習して計算力を高めてください。	◇テスト直前に学習内容を詰め込んでもなかなか身に付きません。テストの2週間前から計画的に学習しましょう。 ◇教科書やノート、ファイルを手がかりに、覚えるべき用語や記号、内容を確認しましょう。 ◇ワークの問題、プリント、教科書の問題など解き直しましょう。 ・答え合わせをして、まちがえた問題はしっかり理解し、わからない問題を放置せず、質問しましょう。 ※ワーク・プリント・ノートの取り組みが、テスト前・テスト当日・テスト後の提出物になることがあります。

### 【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・授業での取組</li> </ul>
思考・判断 ・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・授業での取組</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査・課題の取組</li> <li>・小テストの取組</li> <li>・授業での取組</li> <li>・提出物の内容</li> </ul>

各観点の比率は1：1：1です

### 【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19~21	河上 塚原・今井	100点
第2回定期考査	9/26, 27	河上 塚原・今井	100点
第3回定期考査	11/19~21	河上 塚原・今井	100点
第4回定期考査	2/25~27	河上 塚原・今井	100点

### 【担当者からのメッセージ】

《学習について》

- ・中学生の時期は、たくさんの事を吸収できる時期です。与えられた課題に取り組むことだけでなく、自ら課題を見だし、解決する力を身に付けましょう。
- ・自分は「数学はできない」と、決めつけずに少しずつできることを増やしていけば着実に伸びます。得意な人は、さらに深く考えて数学の面白さを味わってください。
- ・わからないと思ったら早めに質問して解決しましょう。わからないままにしないことが大切です。

《授業について》

形態：習熟度別授業

- ◇2クラスを3つのグループに、1クラスを2つのグループに分けて行います。クラスの組み合わせは学期毎に変えます。
- ◇どのグループも教科書にそって授業をすすめる、定期考査は、どのグループも同じ問題に取り組めます。

★タブレット端末を活用した授業を行いますので、毎回の準備に持参してください。

**【1年間の学習内容】**

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学 期	1 式の計算	式の計算 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生で学習してきた文字と式の内容を発展させ、単項式、多項式の四則計算ができる。</li> <li>数の性質が成り立つことを、文字を使って説明できる。</li> <li>目的に応じて等式を変形し、ある文字について解くことができる。</li> </ul>
	2 連立方程式	連立方程式とその解き方 連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>2元1次方程式とその解の意味を理解し、これらを連立させた方程式を加減法や代入法を用いて解くことができる。</li> <li>具体的な問題を、連立方程式を利用して解決することができる。</li> </ul>
	3 1次関数	1次関数 1次関数の性質と調べ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>事象の中の1次関数の関係にある2つの数量に着目し、式、値の変化などを通してその特徴を理解する。</li> <li>1次関数のグラフの切片や傾きの意味を理解する。</li> <li>1次関数のグラフの切片や傾きを利用して、グラフを書くことや、グラフの式を求めることができる。</li> </ul>
2 学 期	4 平行と合同	2元1次方程式と1次関数 1次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次関数を利用して問題を解決することができる。</li> <li>方程式とグラフについて、その意味や関係を理解する。</li> <li>1次関数のグラフを利用して問題を解決することができる。</li> <li>具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決することができる。</li> </ul>
		説明のしくみ 平行線と角 合同な図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>多角形の内角の和、外角の和の求め方を説明することができる。</li> <li>図形にふくまれる角についての性質を見だし、これらの性質が平行線の性質や三角形の角の性質をもとにして説明できることを理解する。</li> <li>図形の合同の意味や性質を理解し、三角形の合同条件の意味とその役割について理解する。</li> </ul>
3 学 期	5 三角形と四角形	三角形	<ul style="list-style-type: none"> <li>二等辺三角形の性質を証明することができる。</li> <li>正三角形の性質を証明することができる。</li> </ul>
	6 確率	平行四辺形 確率 確率による説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形の性質を証明することができる。</li> <li>平行四辺形の性質を利用して、他の図形の性質を証明することができる。</li> <li>確率の必要性和意味を理解し、簡単な場合の確率を求めることができる。</li> <li>身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。</li> </ul>
	7 データの比較	四分位範囲と箱ひげ図	<ul style="list-style-type: none"> <li>箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。</li> <li>四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、考察し判断することができる。</li> </ul>

<b>2年</b>	<b>理科</b>	教材 iPad・教科書・理科の完全学習（問題集）
-----------	-----------	--------------------------

**【理科で目指すこと】**

- 1 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- 2 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 3 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

**【勉強の進め方】**

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生が話しているときは、先生の方を見て、手を動かさず、集中して話を聞きましょう。</li> <li>・実験は安全に行えるよう、理科室使用のルールを必ず守ること。</li> <li>・実験は必ず班のメンバーと協力して行い、実験の様子をよく観察しましょう。</li> <li>・考察はじっくり考え、分かりやすい言葉で書きましょう。</li> <li>・授業ではまず自分の力で考えましょう。その後、班や学級の仲間の意見を聞き、考えを深めてから自分の考えを再構築しましょう。</li> <li>・よく発言しましょう。みんなの発言で授業が進みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の生活の中で起こることに、常に「なんでだろう?」という疑問を持ちながら生活しましょう。</li> <li>・授業で学習した内容が、日常生活で実際に起こっていないか、目を凝らしてみよう。</li> <li>・授業で学習した内容は、すぐに教科書やプリント、理科の完全学習（ワーク）などを用いて復習しましょう。</li> <li>・授業中の先生の話の思い出しながら、勉強しましょう。</li> <li>・家庭で復習をする中で、分からない項目はメモしておき、理科の先生に聞くようにしましょう。</li> <li>・基本的には毎日復習して、定期考査前に慌てることのないようにしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には、家庭での日々の学習と同じ学習をしてください。</li> <li>・教科書を読み返し、特に太字の単語は必ず覚えましょう。</li> <li>・ファイルに入れたプリントを見返しましょう。実験のプリントは、実験の目的や手順、器具の名称、考察の内容などを復習しましょう。</li> <li>・サイエンスワークは授業中にも解きますが、試験範囲に該当するページは繰り返し解きましょう。特に、できなかったところは繰り返し解き、できるまで行いましょう。</li> <li>・また、ワークなどに取り組む時は、知識を覚えるだけでなく、なぜそのような結果になるのかを考えながら取り組みましょう。</li> </ul>

**【何をどのように評価するのか】**

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・ワークシート</li> <li>・実験、観察のレポート</li> <li>・小中テスト</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・実験レポート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・小中テスト</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・実験レポート</li> <li>・学習振り返りアンケート</li> <li>・各種テスト</li> </ul>

各観点の比率は1：1：1です

**【定期考査の予定】**

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19～21	山田	100点
第2回定期考査	9/26、27	山田	100点
第3回定期考査	11/19～21	山田	100点
第4回定期考査	2/25～27	山田	100点

**【担当者からのメッセージ】**

理科は、日常生活の中にある“さまざまな現象”を扱った教科です。理科の学習では、その“さまざまな現象”がなぜ・どのようにして起こるのかを理解していきます。

この1年間は、授業中に言われたことや重要事項を覚えるだけではなく、その現象を“理解”し、“納得”できるまで、調べたり考えたりすることも大切にして下さい。日常生活の“さまざまな現象”が「そういうことだったんだ」と分かる経験を積んでいきましょう。

また、理科の学習を進める中で、「学びに向かう主体性」を身に付けてほしいです。常になぜだろうと疑問を抱え、そして自分で考え、仲間と解決しようとする。みんなが自然とそのような行動を起こすことができるよう、授業をしていきます。



# 〔1年間の学習内容〕

学期	単元	学習内容	単元ごとに付けたい主な力
1 学期	生物の体のつくりとはたらき	1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ	生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだし理解することができる。 植物の葉や茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果とを関連づけて理解することができる。 消化や呼吸、血液の循環についての観察・実験を行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを観察・実験の結果と関連づけて理解することができる。また、不要となった物質を排出するしくみがあることを理解することができる。 動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、そのしくみを感覚器官、神経および運動器官のつくりと関連づけて理解することができる。
	地球の大気と天気の変化	1章 地球をとり巻く大気の様子 2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季	地表にあるもののすべてに大気圧がはたらいていることを理解させ、身のまわりの大気の状態を認識する。また、身のまわりの大気の状態を継続的に観測させて、気象要素の変化と天気の変化の関係を見いだす。 霧や雲のでき方を、空気中の水の変化と関連づけて理解することができる。また、地球上の水がさまざまな状態で存在し、霧、雲、雨や雪はその循環の一部であることを認識する。 気圧配置によって、大気の動きが生じることを理解することができる。また、日本付近の高気圧や低気圧の移動と、それに伴う天気の変化を、地球規模の大気の動きの一部として捉えることができる。 大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解することができる。さらに、日本付近で盛衰する3つの気団と関連づけながら、日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしくみを理解することができる。
2 学期	化学変化と原子・分子	1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量	身のまわりの物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見いだす。また、物質は原子や分子からできていることを認識する。 原子や分子は元素記号で表すことができることを伝え、分子を化学式で示すことができるようにする。また、化学式・化学反応式によって、物質の組成や化学変化を表すことができるようにする。 2種類の物質が反応して結びつく実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだす。また、さまざまな化学変化を原子・分子のモデルを用いて説明できるようにし、さらに化学反応式で表すことができるようにする。化学変化の学習では、酸化と還元が同時に起きていることを見いださせ、それらが日常生活にも多く利用されていることに気づかせる。また、化学変化に伴う熱の出入りについても認識する。 化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を行い、化学変化の前後では物質の質量の総和が等しいこと、および反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだす。その際、実験で得られた結果をグラフ化するなど、実験結果の処理についての技能も習得する。
	電流とその利用	1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界	回路の基本的な性質や、電圧と電流の関係について規則性を見いださせるとともに、実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得する。 日常生活と関連づけながら静電気の性質について調べさせ、静電気と電流には関係があることを見いださせ、真空放電の実験から、電流の正体について理解することができる。 日常生活と関連づけながら、電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解させ、直流と交流の違いを捉えることができる。
3 学期			

**2年****英語科**

教材

教科書(Here We Go ENGLISH COURSE2)、ジョイフルワーク、ファイル

**【英語科で目指すこと】**

- 英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにしよう。
- 英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにしよう。
- 英語を読むことに慣れよう。英語を読んで書き手の思いなどを理解できるようにしよう。
- 英語で書くことに慣れよう。英語を使って自分の考えなどを書くことができるようにしよう。
- 英語を楽しんで学習し、基礎となる知識をしっかりと身に付けよう。

**【勉強の進め方】**

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 持ち物や課題など、授業の準備をしっかり行い、万全の状態での授業に臨もう。</li> <li>• 先生の話や指示をよく聞いて、集中して取り組もう。</li> <li>• 発音練習や音読練習の際は恥ずかしがらずに大きな声を出そう。</li> <li>• ペアワークやグループワークの際は、英語を使って積極的にクラスメイトと話そう。</li> <li>• 先生やALT、教科書の音声をよく聞いて英語独特のリズムやイントネーションに慣れよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 宿題や課題に取り組もう。</li> <li>• 日常生活の中で疑問に思ったことは、手間を惜しまず自分の力で調べてみよう。</li> <li>• ワークはその日のうちに習ったところの該当ページに取り組もう。</li> <li>• 教科書のQRコードを利用して、英語の音声を聞き、発音練習に励もう。</li> <li>• 質問があれば、ロイロノートの質問箱を利用しよう。(すぐに返信できない場合があります。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ノートやワークなど、課題にしっかりと取り組もう。</li> <li>• 教科書を音読し、読み方や文法事項を正しく理解しよう。</li> <li>• 授業で配布されたプリントの内容を復習し、日本語を見て英語が言える、書ける状態にしよう。</li> <li>• ワークの問題、語順トレーニングの問題ができるようになるまで何度も取り組もう。</li> <li>• わからないことはそのままにせず、先生やクラスメイトに聞こう。</li> </ul>

**【評価について】**

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	• 定期考査・小テスト・授業内の活動
思考・判断・表現	• 定期考査・小テスト・授業内の活動 • パフォーマンステスト
主体的に学習に取り組む態度	• 小テスト・パフォーマンステスト • 課題への取組・授業への取組

各観点の比率は1 : 1 : 1です。

**【定期考査の予定】**

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19~21	三浦・曾根山口	100点
第2回定期考査	9/26,27	三浦・曾根山口	100点
第3回定期考査	11/19~21	三浦・曾根山口	100点
第4回定期考査	2/25~27	三浦・曾根山口	100点

**【担当者からのメッセージ】**

英語を学習していく中で難しく感じることもあり、抵抗感をもつ人もいるかもしれませんが、でも大切なのは、楽しく学ぼうとする気持ちです。他言語を学ぶためには努力の積み重ねが必要です。また、英語の授業の時間は、英語で自分の思いを相手に伝える練習をする時間でもあります。恥ずかしがったり、間違いを恐れたりするのではなく、積極的に他者とコミュニケーションをとっていきましょう。

英語を学ぶことにより、たくさんの人と関わることができます。たくさんの人と関わるということは、自分が大きく成長し、多くのチャンスをつかむことができます。

国際社会で求められる生きた英語力の基礎をつくるためにも、中学校での英語の学習はとても大切です。わからないことがあれば、どんどん質問をして1つずつ解決していきましょう。

皆さんの将来の可能性を広げていけるように全力でサポートしていきますので、一緒に楽しく英語の学習に取り組んでいきましょう！

【1年間の学習内容】

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Unit 1</li> <li>• Active Grammar 1</li> <li>• Unit 2</li> <li>• Active Grammar 2</li> <li>• Daily Life 1</li> <li>• Unit 3</li> <li>• Active Grammar 3</li> <li>• Daily Life 2</li> <li>• Let's Read 1 物語</li> <li>• World Tour</li> <li>• You Can Do It! 1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 動詞の過去形/過去進行形</li> <li>• 動名詞、不定詞 (名詞的用法)</li> <li>• I think (that)~</li> <li>• 未来のことを伝える言い方</li> <li>• If you're hungry,~</li> <li>• 単位</li> <li>• be going to/助動詞 will</li> <li>• 電話での応対</li> <li>• 観光プランの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 動詞の過去形、過去進行形、接続詞 when の構文について正確に理解している。</li> <li>• 日記から出来事や感想を読み取り、適切に理解している。</li> <li>• 会話から、その人の情報を聞き取ることができる。</li> <li>• 動名詞、不定詞の名詞的用法、I think (that) ~. について正確に理解している。</li> <li>• 好きなことやしたいことなどの必要な情報を聞き取り、適切に理解している。</li> <li>• 好きなことやしたいことなどの情報を聞き取ろうとしている。</li> <li>• be going to, 助動詞 will, 接続詞 if の構文について正確に理解している。</li> <li>• 予定や希望などの必要な情報を読み取り、適切に理解している。</li> <li>• 予定や希望などの情報を読み取ろうとしている。</li> <li>• 動詞の過去形や助動詞 will, 接続詞 when, 接続詞 if などの用法について正確に理解している。</li> <li>• 時を表す語句や人物の行動に注意して読み、出来事の経過を捉えている。</li> <li>• 時を表す語句や人物の行動に注意して読み、出来事の経過を捉えようとしている。</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Daily Life 3</li> <li>• Unit 4</li> <li>• Daily Life 4</li> <li>• Active Grammar 4</li> <li>• Unit 5</li> <li>• Daily Life 5</li> <li>• Daily Life 6</li> <li>• Active Grammar 5</li> <li>• Unit 6</li> <li>• Active Grammar 6, 7</li> <li>• Let's Read 2</li> <li>• World Tour 2</li> <li>• You Can Do It! 2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• There is</li> <li>• There are</li> <li>• Show me</li> <li>• We should</li> <li>• I study English to ~</li> <li>• ~because...</li> <li>• 不定詞・接続詞</li> <li>• インタビュー記事</li> <li>• 助動詞</li> <li>• Shall I~? Will you~?</li> <li>• 道案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• There is ~. や &lt;S+V+O+O&gt;, 不定詞の形容詞的用法について正確に理解している。</li> <li>• ガイドブックから必要な情報を読み取り、適切に理解している。</li> <li>• 施設やできることなどの情報を読み取ろうとしている。</li> <li>• have to~や助動詞 must, should を使った言い方について理解している。</li> <li>• 説明から必要な情報を聞き取り、適切に理解している。</li> <li>• 説明から必要な情報を聞き取ろうとしている。</li> <li>• 不定詞の副詞的用法や接続詞 because の構文について正確に理解している。</li> <li>• 体験したことや感想などのおおまかな内容を読み取り、適切に理解している。</li> <li>• おおまかな内容を読み取ろうとしている。</li> <li>• 接続詞 when, because, that や不定詞などの用法について正確に理解している。</li> <li>• インタビュー記事の概要を捉えている。</li> <li>• インタビュー記事の概要を捉えようとしている。</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Unit 7</li> <li>• Daily Life 7</li> <li>• Active Grammar 8</li> <li>• Unit 8</li> <li>• Active Grammar 9</li> <li>• Daily Life 8</li> <li>• Let's Read 3</li> <li>• World Tour 3</li> <li>• You can Do It! 3</li> <li>• Let's read more 1. 2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 比較級,最上級,as~as</li> <li>• 受け身の文</li> <li>• S+V+O+C</li> <li>• want+人+不定詞</li> <li>• 説明文</li> <li>• 紹介文</li> <li>• 観光案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 比較級, 最上級, as ~ as について正確に理解している。</li> <li>• 観光紹介の記事から必要な情報を読み取り、適切に理解している。</li> <li>• 観光紹介の記事から必要な情報を読み取ろうとしている。</li> <li>• 受け身, &lt;S+V+O+C&gt;, &lt;want+人+不定詞&gt;について正確に理解している。</li> <li>• 学級新聞の記事から作品紹介のおおまかな内容を読み取り、適切に理解している。</li> <li>• 学級新聞の記事から作品紹介のおおまかな内容を読み取ろうとしている。</li> <li>• 受け身の文や接続詞 because や助動詞 should などの用法について正確に理解している。</li> <li>• 段落の要点を読み取り、説明文の概要を捉えている。</li> <li>• 段落の要点を考えながら読み、説明文の概要を捉えようとしている。</li> </ul>

<b>2年</b>	<b>音楽科</b>	教材	・中学生の音楽 2・3上, 下    ・中学生の器楽 ・New Chorus Friends    ・音楽のハーモニー 2・3年上 ・ファイル (配布プリント)    ・アルトリコーダー    ・タブレット
-----------	------------	----	---

### 【音楽科で目指すこと】

- 1 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。
- 2 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聞くことができる。
- 3 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

### 【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
◇忘れ物や遅刻をしないようにしよう。 ◇周りの人の様子を伺うのではなく先生の指示は自分の耳でしっかり聴こう。 ◇苦手でも嫌いでもまずはとにかくやってみよう。 ◇先生を良く見て真似しよう。 ◇「はじめはうまくできなくてあたりまえ」他の人と比べたりあきらめたりせずにコツコツ練習しよう。 ◇自分の耳で聴いて、自分の心で感じて、自分の頭で考えて、自分の身体すべてを使って表現しよう。 ◇歌うときは、常に楽譜をしっかりと見て音符と歌詞の関係や色々な記号に注意をはらおう。 ◇鑑賞するときは、その音楽を聴いたらどんな気分になるかに意識を向け、そう感じた理由は何かをよく考えよう。	◇身の回りの音に敏感になろう。 ◇身の回りの音楽と生活とのかかわりについてときどき考えてみよう。 ◇普段から素敵な音楽をたくさん聴いて色々なイメージをもつようにしよう。また、その音楽によってもたらされるイメージや感情の変化は、音楽のどのような要素によるものなのかを考えるような、分析的な聴き方も時々してみよう。	◇音楽の基礎的な知識について授業で習ったことをしっかりと覚えておこう。 ◇楽譜を良く見直し、音符と歌詞の関係やいろいろな記号の読み方や意味をしっかりと確認しておこう。 ◇授業中にいつも注意されたり直されるところを思い出し、どのように歌ったり構えたりすればよいか確認しておこう。 ◇作曲者やその曲の時代背景などについて理解し、覚えておこう。 ◇音楽のいろいろな要素と曲想（それぞれの音楽の雰囲気など）との関わりについてまとめておこう。 ◇普段から自分なりの表現の工夫（「もっとこう演奏したい」というイメージ）を考えておこう。

### 【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	・授業中の活動（表現・鑑賞等）や実技に関する知識と技能 ・ワークシート類の記入内容 ・定期考査（知識・技能に関する問題）
思考・判断・表現	・授業中の活動や実技テストにおける表現 ・ワークシート類の記入内容 ・定期考査（表現の工夫や楽曲理解に関する思考・判断に必要な事柄に関する問題）
主体的に学習に取り組む態度	・授業中の活動や実技テストに臨む意欲と態度 ・授業の振り返りシート等の記入状況 ・定期考査

各観点の比率は1 : 1 : 1です

### 【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19~21	森	100点
第2回定期考査	9/26, 27	森	100点
第3回定期考査	11/19, 20, 21	森	100点
第4回定期考査	2/25~27	森	100点

### 【担当者からのメッセージ】

◇ まずは音楽の多様性・面白さ・楽しさを知り、実際に感じることに。そのことを一番の目標として授業を進めていきます。

そして、音楽によってもたらされるイメージや感情は音楽のどのようなしくみによって作られていくのかを探り、実際の表現に生かしていけるようにします。

音楽から感じたことを人に伝えるためには、言葉に置き換えることが必要です。また人は言葉によって思考しているため、授業では特に自分が感じたさまざまなイメージを言葉にして表現する（伝える）ことを重視しています。日ごろから様々な文章を読み、様々な言葉や表現の仕方を知っておくことも重要です。

◇ 表現（特に演奏）の技能には個人差があります。しかし、全員がここまでではできるようになってほしい…というところが評価の基準になります。

初めはうまくいかなくても、一生懸命取り組んでいればいつの間にかできるようになります。そのがんばっている姿を評価します。自分を周囲と比べて力を加減したりあきらめたりするのではなく、自分のやるべきことをしっかりとやりましょう。「周りの人が声を出さないから自分も出さない」という気持ちでいる人がいますが、「声を出さない周りの人」とはその人自身のことです。自分ががんばらない言い訳を他の人のせいにして、がんばっている人を悪く言うような人がいたら、その人はもちろんそのクラスはどんどんダメになっていきます。

だからこそお互いが励ましあい、高めあえるクラス、みんなと一緒に思い切り声を出して歌えるクラスを目指しましょう。そうすれば、合唱の楽しさや鳥肌が立つくらい感動を全身で味わえるときがきっとありますよ。

## 2年生(1年間の学習内容)

\*学校行事等との関係で、曲目や順番を入れ替えて実施する場合があります。

学期	題材名	学習内容	題材ごとに付けたい主な力
1 学期	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、リコーダーの表現を工夫しよう	・器楽「アルトリコーダー」 『ラヴァーズコンチェルト』	・リコーダーの運指と奏法を身に付ける ・息の使い方や運指で豊かな表情をつける ・なめらかな技術で音楽を表現する ・リコーダーで楽曲を表現できるようにする
	曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう SDGs17	・混声三部合唱『白いライオン』	・混声合唱の響きを楽しむ ・ハーモニーの美しさを感じとる ・斉唱、混声三部の表現の仕方を工夫する ・曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱に仕上げる ・1つ1つの言葉を大切に、言葉のまとまりを生かしながら曲想を考えて歌う
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう SDGs4	・鑑賞『フーガト短調』	・パイプオルガンの響きを味わい、旋律の表れ方や声部のかかわり方を理解して鑑賞する ・パイプオルガンの構造やその時代の作曲家について知る
	仲間とともに表情豊かに合唱するために、いろいろな合唱曲を聴こう	・鑑賞「混声合唱曲」	・合唱曲のハーモニーの豊かさを感じながら、自分たちにふさわしい曲を考え、選ぶ
	英語で歌おう SDGs4, 16, 17	・合唱祭の全校合唱曲を英語で歌う『Sing』	・英語の歌に親しみ、意味を考えながら歌う
2 学期	表現を工夫して合唱しよう SDGs17	・混声三部合唱『白いライオン』 『各クラス自由曲』	・豊かな声の響き、美しいハーモニーで合唱する ・楽曲の特徴について音楽の構成要素や歌詞の内容から考え、その特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱に仕上げる
	形式による曲想の変化を味わおう SDGs4	・鑑賞『交響曲第5番』	・動機の発展による曲の構成や管弦楽による表現の豊かさを味わう ・全楽章を通して緊密な構成、主題展開の巧妙な技法を理解する ・オーケストラの楽器等に触れ音色の美しさを理解する
	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう SDGs4	・歌唱『荒城の月』	・歌詞と音楽とのかかわり方を理解して、曲想を生かして表現を工夫する ・原曲と補作編曲の違いを知り、それぞれの作曲家の思いについて考えながら自分の意見をもつ
	オペラに親しみ、その魅力を味わおう SDGs4, 16	・鑑賞『アイーダ』	・物語の進行を理解し、音楽と舞台が一体となって表現される総合芸術に親しむ
	歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう SDGs4	・鑑賞『勸進帳』	・長唄や三味線音楽について理解を深め、音楽と舞台が一体となって表現される我が国の総合芸術に親しむ
3 学期	太鼓の音色の特徴を生かして創作表現を工夫しよう SDGs4, 17	・太鼓のリズムを創作しグループで合わせて発表する	・太鼓の音色と日本の音楽に興味をもち、その特徴を感じ取りながら演奏する
	仲間とともに表情豊かに合唱し、思いを伝えよう SDGs16	・混声三部合唱 『僕らの奇跡』 『旅立ちの日に』 『君が代』	・豊かな声、美しいハーモニーで合唱をする ・曲の特徴を生かして表現を工夫する ・詩と音楽の一体感を表現できるようにする ・儀式で歌う意義

**2年****美術科**

教材

教科書、美術資料集、スケッチブック、筆記用具類、描画材(アクリル・水彩絵の具や色鉛筆など)、粘土、木材、木綿など

**【美術科で目指すこと】**

- ・自ら進んで美術の活動に取り組む中で、美術への関心を深め、豊かな生活を創造していこうとする。
- ・ものを深みつめて感じたり、想像したりする力を高め、独創的・総合的な見方や考え方を身に付け、豊かに発想し構想する力を育み、表現方法を創意工夫し、自分らしく表現する力を伸ばす。
- ・自然の造形や美術作品、文化遺産などについての理解を深め、心豊かに生きることと美術の関わり合いに関心を持ち、よさや美しさを味わう。

**【勉強の進め方】**

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆忘れ物をしない。</li> <li>◆作品を丁寧に扱い、他人の作品にむやみに触らない。</li> <li>◆話をよく聞こう。</li> <li>◆道具や材料を大切に使う</li> <li>◆取り組んで分かったことや、自分や他者の感じたことや考えたことを大切にする。</li> <li>◆毎時間目標に向けてベストをつくし、計画的に取り組もう。</li> <li>◆作品は必ず完成させよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆授業で学習したことが、自分の身の回りでどのように活かされているのかを見つけ、心を動かされたものや感動したことなど、感じたことを資料や材料として日頃から撮影するなど集めてみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆テストの対象期間中に学習したことをワークシートや教科書、資料集を使って確認しておこう。</li> <li>・制作工程</li> <li>・基本的な知識 (技法や道具の名前、使い方、作品の名前や作者の名前など)</li> <li>・作品を鑑賞して感じたことなど</li> </ul>

**【評価について】**

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識及び技能	アイデアスケッチ、制作のワークシート、制作活動の様子、完成作品、定期テスト
思考力・判断力・表現力等	アイデアスケッチ内容、制作や美術鑑賞のワークシート内容、制作活動の様子、発言内容、定期テスト、
主体的に学習に取り組む態度	美術鑑賞のワークシート、ふりかえりカード、授業態度、提出物の状況などの平常点

各観点の比率は1 : 1 : 1です。

**【定期考査の予定】**

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19~21	小林	100点
第2回定期考査			
第3回定期考査	11/19~21	小林	100点
第4回定期考査	2/25~27	小林	100点

**【担当者からのメッセージ】**

絵画・彫刻・デザイン・工芸・観賞など様々な分野に取り組み、様々な経験をして、自分の世界を広げていきましょう。また、授業で学んだことが日頃どのような場面で利用されているか、感じ、取り組んでみて分かったこと気づいたこと、感じたことを大切にしましょう。美術は毎時間の取り組みの積み重ねが大切です。忘れ物をしてしまうと授業で十分な活動ができなくなり自分自身が困ることになります。スムーズに授業を行うためにも、使用するものは早めに準備をするなどの工夫をしておきましょう。

**【授業に持ってくるもの】**

- ・教科書 ・資料集 ・筆記用具
- ・B2の鉛筆 ・タブレット

**【美術室に置いておくもの】**

- ・絵の具セット ・スケッチブック

【1年間の学習内容】

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学期	オリエンテーション  「空想の世界へようこそ」(絵画) ～わたしだけの世界～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モダンテクニックを用いた空想画</li> <li>・美術鑑賞「抽象画やシュールレアリスムの時代」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○モダンテクニックの技法を理解し、技法と形や色の組み合わせから、作品に自分の想像した世界を、工夫し表現できるようにする。</li> <li>○想像する力を学び、身につけ、自分の内面と向き合いながら、個性をのびし、表現することができるようになる。</li> <li>○鑑賞を通じて感じたことを考え、言葉にすることができる。</li> </ul>
2 学期	「みんなのためのデザイン」  「鍋敷きを作ろう」(立体・彫刻)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能性や素材、形・色の美しさなどについて(鑑賞)</li> <li>・日本の文化と木彫</li> <li>・木彫と機能デザイン</li> <li>・道具の扱い方と技法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鍋敷きの制作を行うにあたり、私たちが何気なく使っている日用品の機能性とデザイン、素材などから生まれる美しさとの関連性について学ぶ。</li> <li>○発想の仕方を鑑賞で学び、感じたことなどをもとに構想・発想し、自分の表現に活かせるようにする。</li> <li>技法について学び、様々な表現方法を理解して効果的に表現を取り入れていく。</li> </ul>
3 学期	「レオナルドとその時代」  「模様をデザインしよう」(デザイン・工芸)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「最後の晩餐」鑑賞</li> <li>・模様のデザイン(ブロック・プリント)</li> <li>・スタンプに模様を彫る。</li> <li>・色と形の組み合わせと木綿ハンカチ染色について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○レオナルド・ダ・ヴィンチの《最後の晩餐》を觀賞し、形や色などが感情にもたらす効果や、遠近技法、明暗、人物描写などの造形的な特徴をもとに、作者やその時代の美術の表現や発想を理解し、感じたことを自分の言葉で表現する。</li> <li>○連続する形をデザインするにあたり、模様をどのようにつなげ、平面の中でどのように動きのある形に工夫し、表現できるかを学び、表現方法の意図を理解する。</li> <li>自分の表現に合う表現や色を選択、追求して創造的に発想・表現していく。</li> </ul>

2年	保健体育科	教材	・ 中学体育実技 ・ 中学保健体育 ・ 学習カード
----	-------	----	---------------------------

### 【保健体育科で目指すこと】

・ 運動の合理的実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。

・ 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

・ 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとする意欲を育て健康・安全に留意し自己の最善を尽くして運動する態度を養う。

### 【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎時間のねらいを意識して授業に参加する。</li> <li>・ 粘り強く挑戦していくという姿勢をもつ。</li> <li>・ 実技では技のポイントが説明されるのでポイントを意識して授業に参加する。</li> <li>・ 仲間と協力しながら、お互いを高めあう姿勢を大切にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習カードを整理していく。</li> <li>・ それぞれの種目に効果的に補える補助的な運動（ストレッチや筋力トレーニング）を効果的に取り入れていく。</li> <li>・ 知識の部分（ルール）をしっかり理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実技では、中学体育実技の教科書を使って、技の名称、技のポイントやルールなどをしっかり押さえた学習をしていく。</li> <li>・ 保健分野は、中学保健体育の教科書や授業で学習した内容を復習することと、配布プリントを使用して学習をすすめる。</li> </ul>

### 【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能 (4) : (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査・授業観察</li> <li>・ 記録測定/技能テスト</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期考査</li> <li>・ 授業観察</li> <li>・ 学習カード</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業観察</li> <li>・ 学習カード</li> </ul>

各観点の比率は1 : 1 : 1です

### 【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19~21	石上	100点
第2回定期考査	9/26, 27	.....	.....
第3回定期考査	11/19~21	石上	100点
第4回定期考査	2/25~27	石上	100点

### 【担当者からのメッセージ】

・ 保健体育科は実技分野と保健分野の二つに分かれます。

・ 実技分野では、自分の目標や課題解決に向かって粘り強く挑戦していく姿勢を身に付けていく事で、自己の記録を向上させるとともに、運動の楽しさや喜びを実感できると思います。

・ 保健分野は、自分のからだの事や身の回りの環境など日常生活と結びつけて学習を深めていけると充実した生活へつながります。

・ 保健体育の授業は、自分と向き合う種目もあれば、仲間と協力することによって成長していける教科です。

・ 自己や仲間の考えたことを伝えあい、仲間とコミュニケーションを大切にルールやマナー、健康・安全に関する態度を身に付けて取り組んでいきましょう。



# 【1年間の学習内容】

天候などにより多少前後することがあります。

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学期	体づくり運動	体ほぐしの運動 体の動きを高める運動 ラジオ体操・集団行動 スポーツテスト	<b>知識・技能</b> 体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解する。 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解する。生活習慣病は生活習慣の乱れが主な原因であり、喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は人間関係、社会環境が影響することからそれぞれに適切に対処していくことが必要であることを理解する。滑らかな動きで速く走ることやバトンの受け渡しでタイミングを合わせるができる。助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。各泳法の基本を身につけることができる。  <b>思考・判断・表現</b> 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その課題に向けて思考し判断しているとともにそれらを表現する。  <b>主体的に学習に取り組む態度</b> 運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助し、一人一人の違いに応じた動きなどを認め、話合いに参加する。健康・安全に気を配ることができる。健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組むことができる。
	陸上競技	短距離走・リレー・走り幅跳び/走り高跳び	
	水泳	・クロール・平泳ぎ 背泳ぎ・(バタフライ)	
	保健 健康な生活と 病気の予防②	・生活習慣病、がんの予防 ・喫煙・飲酒・薬物乱用と健康	
2 学期	器械運動	・マット運動/跳び箱運動	<b>知識・技能</b> 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解する。 交通事故や自然災害などによる障害は、人的要因と環境要因が関わって発生することや事故は安全な行動や環境の整備によって防止できることを理解する。 自然災害は日ごろから備えておくことや安全に非難することが大切であることを理解する。 基本的な技を滑らかに安定して行うとともに条件を変えた技や発展技ができる。基本的な技能の習得や仲間と連携した動きができる。自己の適したペースを維持して走ることができる。滑らかにハードルを越すことができる。  <b>思考・判断・表現</b> 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。障害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現する。  <b>主体的に学習に取り組む態度</b> 運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讃え、互いに助け合い教え合おうとする、一人一人の違いに応じた課題や朝鮮を大切にする。健康・安全に気を配ることができる。障害の防止についての学習に自主的に取り組むことができる。
	球技	・ゴール型/ネット型 ・ベースボール型	
	陸上競技	・長距離走/ハードル走	
	保健 障害の防止	・障害の原因と防止 ・交通事故の現状と原因 ・交通事故の防止 ・犯罪被害の防止 ・自然災害	
3 学期	球技	・ゴール型/ネット型 ・ベースボール型	<b>知識・技能</b> 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解する。 応急手当を適切に行うことによって、障害の悪化や防止できることを理解する。 心肺蘇生法などの技能を身につけている。 基本的な技能の習得や仲間と連携した動きができる。柔道では相手に応じた動きや基本動作を身につける。 ダンスではリズムに乗って全身で踊ることができる。 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解する。  <b>思考・判断・表現</b> 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。障害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現する。 運動やスポーツの意義などについて自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える。  <b>主体的に学習に取り組む態度</b> 運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讃え、互いに助け合い教え合おうとする、一人一人の違いに応じた課題や朝鮮を大切にする。健康・安全に気を配ることができる。障害の防止についての学習に自主的に取り組むことができる。運動やスポーツの意義などについての学習に積極的に取り組む。
	武道	・柔道	
	ダンス	・現代的なリズムダンス	
	保健 障害の防止	・応急手当の意義と基本 ・心肺蘇生法 ・きずの手当	
	体育理論 スポーツの意義や 効果と学び方や安 全な行い方	・スポーツの始まりと発展 ・スポーツへの多様な 関わり方・スポーツの 多様な楽しみ方	

<b>2年</b>	<b>技術科</b>	教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい技術・家庭（技術分野）</li> <li>・ラジオ、栽培キット</li> <li>・配布ワークシート</li> </ul>
-----------	------------	----	--

### 【技術科で目指すこと】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な知識を理解し、基礎の定着をはかる。</li> <li>・知識と知識を関連付け、適切な作業方法を理解することができる。</li> <li>・安全にそして適切に作業する方法について理解し、実践することができる。</li> <li>・問題発見・課題解決に向けて、技術の見方・考え方（社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性）の視点から、これからの社会の在り方について考えることができる。</li> </ul>
---

### 【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中、プリントの穴埋めだけでなく、余白に気がついたこと、大事なことをメモしましょう。</li> <li>・実習では加工のポイントが説明されるので意識して作業しましょう。</li> <li>・実習では、刃物や発熱する工具等も使用しますので、指示をよく聞いて安全に作業しましょう。</li> <li>・安全に作業するために、髪が長い生徒は結ぶようにしましょう。また、ジャージを着用することもあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにある製品の材料や材質について考えてみましょう。</li> <li>・ものづくりに挑戦してみましょう。</li> <li>・食品や栽培に目を向けてみましょう。</li> <li>・情報技術に関するニュースに関心を持ちましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で使用したワークシート、小テスト、教科書を確認し、技術の基本的な知識についてよく復習しておきましょう。</li> <li>・工具の正しい使い方や注意すべきポイントについて振り返っておきましょう。</li> </ul>

### 【評価について】

評価の観点	評価の主な方法や材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・課題・作品</li> <li>・技能テスト など</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・課題・作品</li> <li>・ワークシートの記入状況 など</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題・作品</li> <li>・小テスト</li> <li>・ワークシートの記入状況 など</li> </ul>

各観点の比率は 1 : 1 : 1 です

### 【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19～21	真木田	50点
第2回定期考査	9/26, 27		
第3回定期考査	11/19～21	真木田	50点
第4回定期考査	2/25～27	真木田	50点

### 【担当者からのメッセージ】

技術分野は小学校の図工と大きく異なる点があります。図工と同様にものづくりの楽しさを学ぶこと以外にも、今現在、私たちが生活している豊かな社会を作り上げた”技術”について学び、テクニックを身に付けます。1年生では木材加工の分野を、2年生では生物育成とエネルギー変換、3年生では情報技術について学習します。木材加工では、のこぎりやげんのうなどの工具を使用し、生活に役立つ作品を製作していきます。また、さまざまな製品の材質や、木材・金属・プラスチックなどの材料の性質についても学習します。

技術分野では危険な工具を頻繁に使用します。先生の説明や注意事項をよく聞き、理解し、正しく安全に工具を扱えるようになりましょう。授業での製作を通じて、ものづくりの楽しさ、完成させることの喜び、ものを大切に扱う気持ちを身に付けていきましょう。

## 【1年間の学習内容】

学期	単元	学習内容	単元/題材ごとに付けたい主な力
1 学期	エネルギー変換に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー変換の利用</li> <li>・電気回路、機器の安全な使用方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー変換に関する知識を理解する。</li> </ul>
	生物育成に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎技能</li> <li>・生物を育てる技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物を育てるための知識を理解し、技能を身に付けることができる。</li> <li>・植物栽培に関する知識を理解し、技能を身に付けることができる。</li> </ul>
2 学期	生物育成に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的とする生物の育成計画</li> <li>・植物、環境を観察して育成</li> <li>・生物育成の技術の評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的とする生物の育成に必要な条件を明確にし、成長に適した管理作業などを決定できる。</li> <li>・計画に基づき、適切な資材や用具を用いて、管理作業をすることができる。</li> <li>・新しい発想を生み出し活用することができる。</li> </ul>
	エネルギー変換に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー変換を利用した製作品の設計、製作</li> <li>・工具、回路計の使い方</li> <li>・機械の保守点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー変換を利用した製作品の設計と製作に関する知識を理解し、技能を身に付けることができる。</li> <li>・機器の点検すべき個所を見つけ、保守点検と事故防止ができる。</li> </ul>
3 学期	エネルギー変換に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成した製作品の評価</li> <li>・エネルギー変換に関する技術を未来に生かす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー変換を利用した製作品の設計と製作に関する知識を理解し、技能を身に付けることができる。</li> <li>・エネルギー変換に関する技術の課題を明確にし、適切な解決策を見いだせる。</li> <li>・エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響を理解することができる。</li> </ul>

<b>2年</b>	<b>家庭科</b>	教材	*教科書 *ワークノート *実習教材（刺し子お弁当包み カラフルトートバッグ）
-----------	------------	----	---

### 【 家庭科で目指すこと】

「衣食住の自立に向かって」「共生社会に向かって」「持続可能な社会に向かって」3年間で段階的に履修します。2年生では、衣生活の自立に向けて学んでいきます。実習では、生活環境のことを考えながら、布を用いた基礎縫い、ミシン縫いを行い、作品を仕上げます。

### 【勉強の進め方】

授業では	家庭では	テスト勉強の仕方
教科書とワークノートに従って授業を進め、ワークノートに自分の考えやポイントを記入していきます。板書を写すだけでなく、要点を書き足していきます。理解が深まります。実習に集中して取り組みましょう。速く、きれいに仕上げるための工夫を考えながら作業します。準備、実習、片付け、最後までしっかりと行いましょう。次の時間に準備することも前の時間で確認をとるようにしてください。	授業で学習したことを実際の生活に取り入れていきましょう。夏・冬休み中には課題がありますので、意欲的に取り組んでください。提出期限を守りましょう。	教科書とワークノート、作品製作の手引きを中心に勉強をしましょう。

### 【何を評価するのか】

評価の観点	評価の主な方法	観点の比率
知識・技能	定期考査 課題・作品	1
思考・判断・表現	ワークノート・作業記録 課題・作品 定期考査	1
主体的に学習に取り組む態度	ワークノート・作業記録 課題・作品 授業観察	1

各観点の比率は1：1：1です

### 【定期考査の予定】

定期考査名	期間	担当	満点
第1回定期考査	6/19～21	井上	50点
第2回定期考査	9/26, 27		
第3回定期考査	11/19～21	井上	50点
第4回定期考査	2/25～27	井上	50点

### 【担当者からのメッセージ】

自分の衣生活について、現状を知り、今後の生活をどのようにしたら、豊かにできるかを考えていきます。また、自立するための知識・技能をしっかり身に付けていきます。実習では縫い方の基礎を再確認してから、作品を仕上げていきます。丁寧に、能率よく作業を進める工夫をし、作品を完成させる楽しさを味わっていきましょう。

**【1年間の学習内容】**(当初予定)

学期	単元	学習内容	単元ごとに付けたい主な力
1 学期	衣生活と自立	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 衣服のはたらき</li> <li>• TPOに応じた着方</li> <li>• 衣服計画と購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 衣服の社会生活上の働きを理解し、目的に応じた着方や個性を生かした着方ができる。</li> <li>• 既製服の選び方を知り、衣服を自分で管理できる。</li> <li>• 刺し子の技法を理解し、実践できる。</li> </ul>
2 学期	布を用いた物の製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 衣服の手入れ</li> <li>• トートバッグの製作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境を考えた洗剤の適切な使い方を知り、衣服の適切な手入れができる。</li> <li>• 衣服の補修に必要な基礎縫いができる。</li> <li>• ミシン、裁縫道具の正しく安全な使い方ができる。</li> </ul>
3 学期	布を用いた物の製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>• トートバッグの製作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ミシン、裁縫道具の正しく安全な使い方ができる。</li> </ul>
	環境に配慮した衣生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 衣服のリサイクル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境に配慮した衣服の着方、処分の方法を理解する</li> </ul>